

大村議員ご提出資料

愛知県の主な取組

目指すべき方向性

【 】は2025年度実績

- 就職氷河期世代の就職・正社員化、職場定着の促進及び多様な社会参加の実現を目指す。

◆ 就職・正社員化への支援

- キャリアコンサルティングや各種研修を実施し、マッチングから採用・職場定着に至るまでの過程を伴走支援 【就職者数26名】
- 県と国が連携して運営する就職支援施設「ヤング・ジョブ・あいち」において、就職に関する総合的なサービスをワンストップで提供 【就職者数4,936名】
- 中高年齢者が自分の可能性を再発見することで、キャリアチェンジや働き方を検討するための再就職支援セミナーを開催 【支援対象者数237名】

◆ 生活困窮者への支援

- 県福祉事務所にアウトリーチ支援員を配置し、支援対象者の掘り起こしと働きかけを実施
- 就労が困難な者に対し、就労に向けた基礎能力を養うための助言・指導等の支援の実施 【支援対象者数14名】
- 家計に様々な課題を抱える者に対する家計管理能力等の改善に向けた支援の実施 【相談件数55件】

◆ 住宅確保の支援

- 住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅（セーフティネット住宅）の登録 【登録戸数68,678戸】
- 居住安定援助賃貸住宅（居住サポート住宅）制度の普及・啓発

◆ 県職員としての採用

- 就職氷河期世代を対象とした職員採用候補者試験の実施
《受験資格》 2027年4月1日現在の年齢が30歳から61歳まで※
《試験区分・試験程度》 事務・高校卒業程度
【採用者数 27名】
- ※ 2025年度実施試験から、就職氷河期世代に加え、育児や介護、病気などで、やむなく非正規雇用にとどまっている方も受験できるよう、受験可能年齢を拡大

◆ ひきこもり対策

- 県精神保健福祉センターの市町村支援員や市町村職員を支援するための多職種専門チームによる支援検討会議の開催
- 市町村等の支援者を対象に支援に必要な知識及び技術の習得に関する研修会を実施
- 地域においてひきこもりに関する理解が深まるよう、一般県民を対象とした講演会を開催
- ひきこもり支援サポーターの養成及び市町村等への派遣 【養成研修参加者23名、延べ39回派遣】
- ひきこもりピアサポーターによる相談事業の実施 【相談等延べ28件】

【 】は2025年度実績

事例① 【西尾市】

2021年度
から実施

【採用件数：13件】

2022年1月にハローワークと市が全国初となる「**就職氷河期世代の就労支援に関する連携協定**」を締結。

就職氷河期世代の正社員雇用を支援するため、西尾市、ハローワーク西尾、市内企業の3者が連携したミドルシニアマッチング強化事業「ワン・ステップ」を実施。

事例② 【豊明市】

2018年度
から実施

【相談件数：延べ 1,464件】

2018年4月にひきこもり相談窓口「はばたき」を設置し、様々な支援機関と緊密に連携し、**相談支援や居場所支援等をワンストップで行う。**

ひきこもりに係る地域課題の解決に向けて、一人ひとりに合わせた就労支援や就労に限らない多様な社会参加への取組を実施。

事例③ 【一宮市】

【新規相談受付件数：計697件】

就労支援事業だけではなく**就労準備支援事業**や**家計改善事業**を**一体的に実施**することで、一人ひとりに寄り添った支援を行う。

自立相談支援において、就労準備や家計改善を要すると思われるケースは初回面談から各事業担当者も同席。

事例④ 【半田市】

2022年度
から実施

【新規相談受付件数：計322件】

自立相談支援員が就労支援員を兼ね、必要に応じて**生活支援と就労支援を合わせて実施**している。

働ける居場所「安昌堂」を設置し、就労自立を促す作業等のプログラムだけでなく、居場所としての機能を有した支援を実施。